

第4節 館外奉仕

1 移動図書館「あづま号」の巡回

巡回奉仕については年度当初予定した巡回計画どおり実施することができ、その利用冊数は85,580冊と昨年を約13,000冊上回った。このことは各地域の公民館が公民館活動の一環として読書活動の運営に力を注ぐところが多くなったためである。ちなみに昭和48年には公民館として1,000冊以上利用したところが8館であったものが、本年は25館になっている。県立図書館が直接県民にサービスを行う方法にはおのずから限界があり、公民館がこうした活動を着実にやることによって市町村立図書館設置の気運が生ずるものと考えられるので、こうした取り組みのあるところには、県立図書館としても積極的に援助を実施して行きたい。また昨年度から実施した図書「予約制度」により読みたい本は確実に入手できることも利用増の要因となっている。

利用された図書の内容は、児童図書がその半数を占め、実用図書、文学書、教養図書等となっている。〔表10〕

また本年は昭和43年に購入した「あづま号」（3号車）は10年10万kmを走破したので、新車に更新して1月から始動した。

2 親子読書文庫の推進

読書普及活動として今日最も普遍的な文庫活動は、もっと大幅に推進すべきであったが、これに充当する図書がじゅうぶんでないために、1か所の増設にとどまり、従前までの20か所に加えて21か所で実施した。ボランティアの主婦による運営が3、公民館が1、他は小学校ということになったが、小学校の場合は、授業その他諸行事等の関連もあり、その運用は困難が予想されたが、校長はじめ、担当教員の熱心な指導により、極めて効果的に運用され、また詳細なデータが、報告されるなど、図書館側が意図した以上の運用がなされたことは、喜ばしい限りであり、今後こうした読書普及活動にますます力を傾けるべきであると考えられる。

本年度実施地区は次のとおりである。

管内別	設置場所	設置年月
県 比	国見町親子読書文庫	昭和47. 10
"	国見町立森江野小学校	49. 5
"	梁川町立五十沢小学校	49. 5
"	白沢村立糠沢小学校	52. 5
県 中	船引町立欄山小学校	50. 5
"	船引町立中山小学校	50. 5
"	天栄村立広戸小学校	49. 5
"	古殿町立大原小学校	51. 5
"	三春町オアシス文庫	52. 5
県 南	表郷村立表郷第四小学校	51. 5
"	塙町立高城小学校	52. 5
"	大信村立信夫第一小学校	52. 5
会 津	昭和村立野尻小学校	50. 5
"	北塩原村立裏磐梯小学校	49. 5
南 会 津	下郷町立南小学校	52. 5

管内別	設置場所	設置年月
南 会 津	只見町立朝日小学校	昭和52. 5
相 双	飯館村立白石小学校	47. 10
"	大熊町公民館	52. 5
い わ き	いわき市四倉公民館	51. 5
"	いわき市ともだち文庫	51. 5
"	いわき市川部小学校	51. 5

3 広報・普及事業

(1) 館報「あづま」の発行

① 編集方針

図書館の機能を県民に理解してもらうとともに、県内の埋もれた郷土資料、図書館（公民館図書室）事情等を県民に広報する。

② 内 容

ア 特集記事

「数字に見る本県公共図書館の現状」 191号

「公民館図書室を考える」

その4 会津坂下町中央公民館長

仙波 寛 191号

その5 石川町中央公民館長 長谷川慶信 192号

その6 矢吹町中央公民館長 幕田 耕郎 193号

「現代社会と図書館」…県図書館大会講演要旨

お茶の水女子大助教授 小川 剛 192号

イ 郷土再見

「仏陀を背負いて街頭へ」 安達 正玄 192号

「残雪にまつわるファンタジー」県内の雪解象 193号

③ 体 裁

B 5版 毎号8ページ、2,000部、年3回発行

④ 配布先

教育庁各課（所）、知事部局関係各課、市町村長、市町村教育委員会、都道府県立図書館、県内図書館、公民館、高等学校、読書団体、一般利用者等

(2) 第25回福島県図書館大会の開催

① 趣 旨

本大会も25回を迎え、とくにここ10年間は図書館の機能も拡大し、図書館の存有意義も認識されるようになった。この大会は、市民社会が、図書館に求めているものは何かをあらゆる角度から分析し、市民の期待に対応できる図書館づくりを考えようとするものである。

② スローガン

市民の期待に対応できる図書館づくりを考えよう

③ 主 管

福島県立図書館

④ 主 催

福島県教育委員会、いわき市教育委員会、福島県公共図書館協会、福島県読書推進運動協議会

⑤ 後 援

福島民報社、福島民友新聞社、NHK福島放送局、福島テレビ、福島中央テレビ、ラジオ福島

⑥ 協 賛